



いばらきダイバーシティ宣言

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。

その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

ひとにやさしいつわ開発研究会は、ダイバーシティ社会の実現に貢献するため、以下のとおり取り組みます。

1. 年齢や性別、国籍、障がいの有無等にかかわらず、器を使うすべての方へ等しく「のみやすい・もちやすい・すくいやすい」器の提供をします。
2. 全ての人の価値観、考え方、経験、能力等の違いを考慮しながら、制作をし、使い手の方が幸せになるような器の提供をします。
3. 真の成長と幸せのために、性別・年齢・国籍・障がい・適性・潜在能力の違いを尊重しながら、作り手と使い手の相互扶助関係を構築し、自分らしい【食】ができるような器の提供をします。

令和4年9月25日

ひとにやさしいつわ開発研究会

会長 中村 富夫